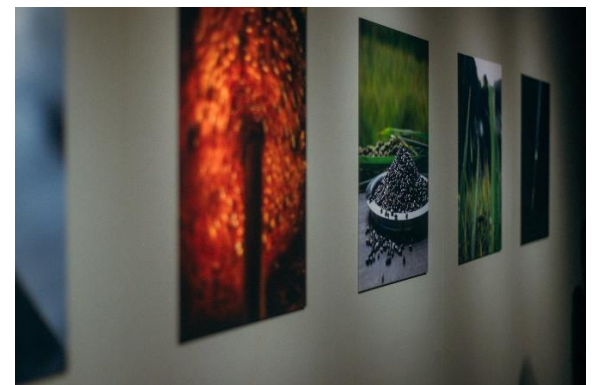


【理想の暮らし探求型】京丹後市地域おこし協力隊募集！自然と深く繋がる暮らしを！
山の麓で雄大な農地が広がる吉野地区で、農業や狩猟など自然と共存する活動を生業にし、脈々と受け継がれる歴史を感じながら暮らしていきたい方を募集！

京丹後市の吉野地域は、京丹後市の山側、弥栄町の南西部に位置する平野部で、山に守られるように雄大でどかな農地が広がる地域です。

吉野は吉沢・芋野・堤という3つの区から構成されていますが、その中のひとつ芋野には、古くは平城京に赤米(古代米)を献上していたという歴史があります。白米栽培の隆盛などもあり一時は途絶えてしまった古代米の栽培でしたが、40年ほど前に復活栽培に成功し、それ以降は地域の有志メンバーで立ち上げた「芋野郷赤米保存会」を中心に継承活動が行われています。今では人数も増えたメンバーの熱量に巻き込まれるように、田植えや稲刈りの時期には地域内外から多くの支援者が集まるようになりました。この地域の水や土、気候、そして熱い想いを持った人たちの手によって丹精込めてつくられた古代米に含まれる成分が評価され、こだわりのプロダクト(化粧品)の原料に使用されるなど多方面から評価や注目が集まっています。



歴史とともにこの里山での暮らしを繋いでいきたい！

この地域の資源（自然、歴史、環境、人など）に包まれた暮らしは、未来に提示できる「理想の暮らし」になり得るのではないかと考えています。ただ、現代の暮らしに逆行するように懐古的な暮らしを追求するのではなく、都心部との連携や先進技術などの導入も含め、昔ながらのアナログな暮らしと現代にも対応するデジタルな暮らしを絶妙に融合させた「新しい豊かな暮らし」を、この里山の資源を活用しながら、探求していただきたいと思います。



ここで果たしていただくミッションは…

◎古代米の継承活動

芋野郷赤米保存会の主要メンバーとして、古代米の栽培管理、販路の拡大などを担ってまいります。

◎獣害対策

地域の深刻な課題となっている獣害について、その対策の一環として狩猟技術も学んでもまいります。

◎地域の活性化

上記2つのミッションを通じ、地域住民・京丹後市民を巻き込んだ地域活動を実践してまいります。

～具体的活動の一例～

- 古代米の栽培:基本となる現代の白米栽培を学びながら、昔ながらの方法での古代米栽培の技術を学んでもまいります。田植えや稲刈りはもちろん、日々の生育チェックなど他メンバーと連携し、主体的に関わっていただきます。 ※農地・収穫量拡大を予定
- 古代米の活用:京丹後市内のリアル店舗での販売(取り扱い販売店の拡大)や通販に加え、市内外問わず各種飲食店での提供(取り扱い飲食店の拡大)、その他新たな販路開拓・活用方法の模索
- 狩猟&解体:昨今、深刻になっている「獣害」と注目を集める「ジビエ料理」。その双方の対応に繋がる狩猟(畏猟)および解体技術を学んでもまいります。 ※資格取得、銃猟にもチャレンジ
- 新たなチャレンジ:昨今注目を集めるニホンミツバチの飼育やフルーツ栽培などビジネスにも繋がるチャレンジ
- 拠点の構築:人が集まる拠点の構築と活用(吉野小学校跡地の活用方法検討、空き家活用など)
- 啓蒙活動:近隣小学校やこども園での米づくり授業の実施
- 情報の発信:SNSでの発信や暮らし体験イベントなどの企画・運営 など

自然と深く繋がる暮らし方を身につけるサポート環境は整っています！

「ここでしかできない経験」×「自身の強み・想い」＝『理想の暮らし』の実現を！

いやさか吉野地域づくり協議会会長として「楽しく、住みよい」地域づくりを推進し、一方で芋野郷赤米保存会会長として古代米の継承活動を牽引し、個人としては試行錯誤を繰り返しながら独自の手法で農作物を栽培し、畠猟で獣害対策・ジビエ料理活用にも取り組むなど、この里山の暮らしを熟知する地域の中心人物である藤村 政良氏や彼と共に地域を一緒に盛り上げている人たちと行動をともしながら、自然と共存する暮らしや人を巻き込むリーダーシップなどを学ぶことができます。ベースとなるこの土地ならではの暮らしを身につけたうえで、そこに「自身の強み」や「やりたいこと」「理想」などあなた独自の魅力を掛け合わせ、過去と未来を繋ぐこの土地ならではの豊かな暮らしを探求・発信してください。

～タッグを組んでいただくパートナー：藤村 政良氏とは、こんな人～

- ・「おもしれえ（おもしろい）」ことが大好きな人
- ・決して線を引かない「寛容性」の塊のような人
- ・自分の持っているモノ（技術、経験、農作物など）を惜しげもなく与えてくれる「気前のいい」人
- ・「農業経験」が豊富な人（米、野菜、果物…何でも？育てることができる・チャレンジする）
- ・畠猟で「狩り」をする人（猪や鹿など獣害対策をしながら解体もしジビエ料理に活用）
- ・山菜をいっぱい採ってくる人（旬と自生地を熟知している）
- ・ニホンミツバチを呼ぶ人（ニホンミツバチの飼育を再開し蜂蜜を舐めるのを楽しみにしている）
- ・烏骨鶏を飼う人（日頃から一つうん百円もする卵を普通に食べている）
- ・小学校やこども園で子どもたちに「米づくりを教える」人（子どもたちに人気のおじいちゃん）
- ・「ドラム」を叩く人（畑にある小屋の中にはドラムセットが）

※偏屈な頑固爺とは「真逆」の人（見た目と違い？愉快でやさしく、かわいいおじいちゃん）



地域課題の解決に寄与し、未来にも繋がる「豊かな暮らし」の体現者になってください！

【こんな人を探しています】

- ・自然と深く繋がる暮らしを求めている人
- ・おもしろいことが好きで色んなことにチャレンジしてみたい人
- ・「人」が大好きな人
- ・「繋ぐ」ということに興味がある人
- ・「歴史」にロマンを感じる人
- ・藤村さんに興味を持った人

【さらに、こんな興味やスキルを持っている人、大歓迎！】

- ・農業全般、狩猟に興味・関心（もしくは経験）がある人
- ・教育に関心がある人、子どもと接することが好きな人

あなたのやりたい事や夢を聞かせてください。ご応募お待ちしております！

【委託型】京丹後市地域おこし協力隊 活動条件

現在、京丹後市で活躍する協力隊は12人です！

個々の活動だけではなく、みんなで連携しながら活動しています。あなたもその一員になりませんか？

◎報償：月額27万円（活動費及び各種手当含む）

◎働き方：兼業副業OK！個人事業主として市と委託契約を締結します

◎その他：住居、パソコン、車両は個人でご準備ください

※協力隊として、3年間活動する意思のある方を募集します。

※原則、居住地は弥栄町吉野地区とさせていただきます。（物件の斡旋可能）

※原則、応募前に一度は京丹後市に来てください。藤村さんをはじめとする地域の方々と交流・体験いただきながら、ここでの暮らしをイメージしてもらいます。

現地でのワークショップイベントを計画しています。（交通費等は自己負担）。

※募集詳細は、京丹後市ウェブサイトをご覧ください。

